



春陽の期近し



早いもので2月になりました。
今年の立春（りっしゅん）は2月4日、節分（せつぶん）は2月3日です。



先生が作った配膳室前掲示板の鬼…うまい！

立春は「春のはじまりの日」です。（それぞれの季節のはじまりの日は、立春の他に立夏・立秋・立冬があります）

節分は、まさしく「季節を分ける日」です。季節のはじまりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前の日が節分なので、年に4回あります。しかしこの立春の前の日の節分が大きく取り上げられるのは…昔は1月1日（元日）同様に立春も新年と言われ、その前日である大みそか（12月31日）と同じように、この立春前の節分は「年越しの日」という意味があったそうです。（節分に豆まきをするのは、新しい年が幸せいっぱいになるように、【鬼（悪い気や魔物）】を取り払い、幸せをお家の中に入れるために行うそうです）

最近では「恵方巻」も有名ですね。こちらも「今年1年、幸せでありますように」と福を呼び込む行事です。（ちなみに今年の恵方は東北東だそうです）



体育館うらの櫻にはもう小さな芽がついています。

寒中の木の芽

内村鑑三

- 一、春の枝に花あり
夏の枝に葉あり
秋の枝に果あり
冬の枝に慰（なぐさめ）あり
- 二、花散りて後に
葉落ちて後に
果失（う）せて後に
芽は枝に顛（あら）はる
- 三、嗚呼（ああ）憂に沈むものよ
嗚呼不幸をかこつものよ
嗚呼希望の失せしものよ
春陽の期近し
- 四、春の枝に花あり
夏の枝に葉あり
秋の枝に果あり
冬の枝に慰あり

2月4日からは季節は“春”
その前に、詩をひとつ紹介します。
それは明治時代の学者 内村鑑三さんの「寒中の木の芽」という詩です。（むずかしいので、低学年の人はお家の人と一緒に読んでください）
当時（明治）の時代と今ではちがうこともありますが、この詩を自分なりに考えると…

春や夏、秋の枝には様々なもの（花・葉っぱ・果実）がついて、にぎやかだが、冬の枝には何もついていないように見える。しかしよく見ると“小さな新しい芽”がついている。
「花が散って」、「葉っぱが落ちて」、「果実がなくなって」はじめて芽ができる。
冬の枝の小さな新しい芽は、きびしい寒さにたえて、希望の“春”のために準備をしている。
自分の思うようにならず、いらいらしたり、なげき悲しんだり、「自分は不幸だ」と不平・不満を言ったり、自分の目指す目標をなくしたりしている人よ…春はもうそこまで来ている。

春はおだやかな光がさし、きれいな花が咲いて、生き生きとした季節です。春にきれいな花を咲かせるために冬の小さな芽はがんばって準備をしているのでしょね。「冬のような厳しい時があっても、くじけず希望の“春”のために準備をしよう」という勇気をもらえる詩です。

みなさんも、自分の中にある小さな芽（がんばろうとしている目標）を大きくふくらませ、自分なりの花を咲かせましょう。

2月は「逃（に）げる」といわれる月で、あっという間に過ぎていきます。物事をひとつひとつ確実に、始業式で話した「それぞれの学年がめざすすがた」を実現していきましょう。

関わり合い③

今年度、玉小学校の研究テーマとして取り組んできた【関わり合い】について、みなさんが答えたアンケートの結果を載せます。（【関わり合い】については学校だより第9号・第11号にくわしく書いています）

質問項目	対象	肯定的回答割合		
		4月	7月	12月
			4月との比較	左：4月との比較 右：7月との比較
○友達と関わることは好きである。	全学年	88.0	↓85.7	↓↑86.3
○自分の考えをもつことができる。	全学年	80.7	↑83.3	↑↑86.3
○自分の考えや気持ちを友達に伝えることは好きである。	全学年	63.9	↑76.7	↑↑77.5
○友達の考えを知ることは好きである。	全学年	85.5	↑85.7	↑↑88.8
○自分の気持ちや考えを友達に伝えようとしている。	1・2年	85.3	→85.3	↓↓83.9
○自分の気持ちや考えを整理して友達に伝えようとしている。	3～6年	71.4	↓66.0	↑↑81.6
○自分の気持ちや考えに理由をそえて伝えようとしている。	5・6年	74.1	↑85.2	↑↑88.8
○友達の気持ちや考えを理解しようとしている。	3～6年	83.7	↑94.0	↑↓91.8
○友達と自分の考えを比べようとしている。	1～4年	53.6	↑73.7	↑↑77.4
○友達と自分の考えを比べて、違うところや同じところを見つけようとしている。	5・6年	85.2	↑92.6	↑↓88.8
○友達の考えを聞いて、自分の考えに取り入れたり、やってみようとしたりしている。	3～6年	83.7	↑86.0	↑↓85.7

関わり合いでのみなさんの気持ちや行動は4月と比べ、向上している項目が多く、岡山県や玉野市の教育委員会の先生方に教えてもらったり、先生たちで話し合ったり、みなさんと一緒に考えたり、研究授業をしたりした成果が出たところが多かったと思います。

一つ一つの項目についてのくわしいたしかめは、先生たちで今後行い、来年度の研究につなげていきたいと思っています。